

ご利用ください

国際交流助成制度

国際化社会といわれて久しくなりましたが、大館市に国際交流(研修)助成制度というのがあることを存じでしょうか。これは、市民の皆さんに豊かな国際感覚を身に付けてもらうような国際交流活動や地域の活性化に役立つような国際交流活動に要する費用の一部を助成するという制度です。

平成八年度は、二事業、二人に助成金が交付されました。まだまだ、利用されることが少ないようですので、国際交流を目的に海外に出かける際は、どうぞご利用ください。

ここでは、四月からの制度の改正に合わせて、この制度を改めて紹介します。

対象になるかた

国際交流事業を行うかた、またはそれに参加するかたで、日本国籍を持ち、大館市に住所のある中学生以上のかたです。

対象になる事業

個人事業…市民が自主的に計画して行う国際交流事業
 団体事業…大館市に住所のある民間団体(営利活動は除く)などが

主催する国際交流事業

その他…その他、国、市、公共団体または民間団体(営利活動は除く)が主催して行う国際交流事業に参加するとき

助成金の算出

個人事業の場合は、対象経費(運賃および海外での宿泊料)の三分の一以内を助成金とします。ただし、十万円を限度額とさせていただきます。

団体事業とその他の場合は、対象経費の五分の一の額と別表にある



団体事業とその他の助成金限度額

| 人数 | 限度額 |
|--------|-------|
| 1～9人 | 20万円 |
| 11～29人 | 40万円 |
| 30～49人 | 60万円 |
| 50～99人 | 80万円 |
| 100人以上 | 100万円 |

る限度額のうち低いほうを助成金とします。

いずれの事業とも国内における移動費は助成の対象外とします。

応募書類の提出

参加の申し込みをするかたは、事業の実施一カ月前までに応募書類を企画調整課へ提出してください。応募書類は、申請書、経費明細書、実施計画書、応募者調書(用紙は企画調整課にあります)です。また、住民票もしくは住所のわかるものも必要です。

対象者の決定と助成金の交付

助成の対象になるかたは、申し込み後、審査会で選定のうえ、決定します。そして、対象になると決定されたかたには、所要経費を審査のうえ、助成金を交付します。ただし、同一人(同グループ)への助成は一年に一回とさせていただきます。

交流報告

助成金を受けたかたは、国際交流事業が終了後、一カ月以内に交流(研修)結果報告書、感想文、交流時の写真及び収支報告書を提出しなければなりません。

お問い合わせは

企画調整課 ☎ 49-3111

(内線268)へ

市長リポート

No. 154



ボランティア

に期待すること

ボランティア活動といいますが、阪神大震災や日本海の原油流出事故が記憶に新しいものです。ただ、ここ数年、大館市においても、ボランティア活動が盛り上がりを見せています。昨年末、社会福祉協議会で「除雪ボランティア」を募集しました。この活動は、体の不自由なお年寄りの雪かきのお手伝いをするというものです。これには、職場単位、地域単位などからたくさんの方の登録をいただいたようです。また、大変うれしいことに、多くのかたがたから、この「除雪ボランティア」のほかにも出来ることがあったら知らせてくださいという声も寄せられています。

市政は、市民の皆さんから納めていただいた税金をもとにして運営されています。それに、皆さんの様々な協力があったり、むだなお金のかららない、効率的な市の運営ができるわけです。その一番の良い例が、ごみの問題です。行政の側がごみの分別作業をするのではなく、皆さんの協力があってこそ、作業が効率的に進み、また、ダイオキシンの数値を下げることもできました。生ごみの減量化もそのような協力があれば、必ず達成できるはずです。また、公園の草取りなども市の税金を使わずに、普段利用している住民が自発的に行う、これらは立派なボランティア活動といえるでしょう。

今後、大館市では、北部老人福祉総合エリアのオープンが控えています。エリアには、たくさんの方の関心のかたがたが集まっています。今以上にボランティアの役割が重要になってきます。そのかたがたを温かく迎えるには、行政の力だけでは対処できません。これから、皆さんが参加しやすい、市の発展に結び付けることのできる、ボランティア活動の環境づくりを進めていきたいと思います。

小畑 元